

実習の感想

今年 6 月 9 日から 4 週間、あがの市民病院で総合診療学の臨床実習をさせていただきました。疾患の治療や急性期からの脱出を目標としていることが多い大学病院と異なり、治療はもちろんですが患者様の退院後の生活を踏まえた目標に向かった医療が提供されているのが印象的でした。これからますます高齢化が進んでいく中で、地域医療はどうあるべきかを考える機会となりました。

外来では初めて、問診、診察から検査まで、自分で考え実践させていただきました。診療科にとらわれない総合的な知識や技術が必要な現場が多くありましたが、毎回丁寧なフィードバックをいただけたので、回数を重ねるごとに自分の成長を感じました。病棟実習では、毎日の回診を通して、病棟管理についても知識を深めることができました。リハビリテーション科や検査科での実習もあり、カルテで見るリハビリテーション報告書や検査結果の裏でどのようなことが行われているかを知る貴重な経験となりました。

最後になりますが、ご指導いただきました藤森先生、榎本先生、後藤先生をはじめとする先生方、スタッフの皆様に厚く御礼申し上げます。大変お世話になりました。